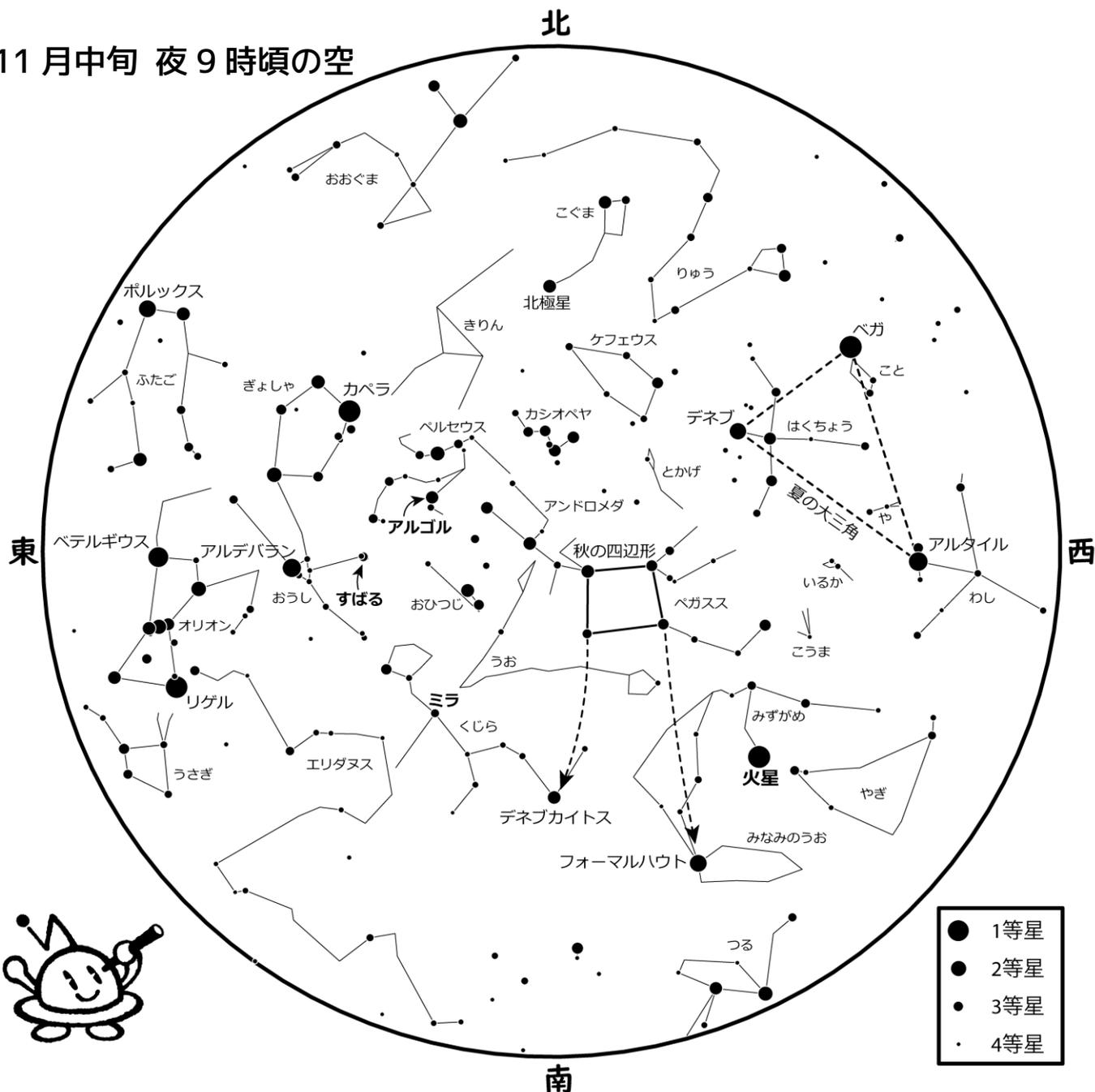


阿南市科学センター 11月の星空案内

11月中旬 夜9時頃の空

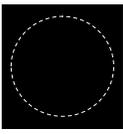


秋も深まる 11 月ごろには、**秋の四辺形**と呼ばれるペガサス座の胴体にあたる部分が空高く見えます。秋の四辺形を利用すれば、**フォーマルハウト** (みなみのうお座) や**デネブカイトス** (くじら座) と呼ばれる秋の星々を探ることができます。フォーマハウトの近くには約 0 等星の火星が見え、赤い輝きが目立つことでしょう。さらに秋の四辺形の周囲には、古代エチオピアが舞台の神話に登場する**カシオペヤ座**、**アンドロメダ座**、**ペルセウス座**を見つけることもできます。ちなみに、夏の**大三角**は西の空に傾きそろそろ見納めとなりますが、東の空からは**ぎょしゃ座**、**おうし座**、**オリオン座**、**ふたご座**など冬の星座たちが姿を現しはじめています。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵 8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名称	下弦の月	新月	上弦の月	満月
形状				
見える日	11月1日	11月8日	11月15日	11月23日

※11/30 も下弦の月

◇ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	11月上旬ごろ、日没後に西のごく低空で見える。	明け方、東の低空で見える。 (明けの明星)	日没後、南の空で見える。	太陽に近く、観察は難しい。	日没後、南西の低空で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約-0.5等	—	約0.5等

◇ おすすめの天体・天文現象

【秋の二重星『アルマク』】

秋の代表的な星座であるアンドロメダ座には『アルマク』という二重星が輝いています。二重星（ダブル・スター）とは肉眼では一つにしか見えない星が、望遠鏡で拡大して見ると二つの星に分離して見える天体です。キラリと二つの星が並ぶ姿はまるで宝石で、アルマクは色の違いを楽しむこともできます。



図1: 望遠鏡で撮影したアルマク

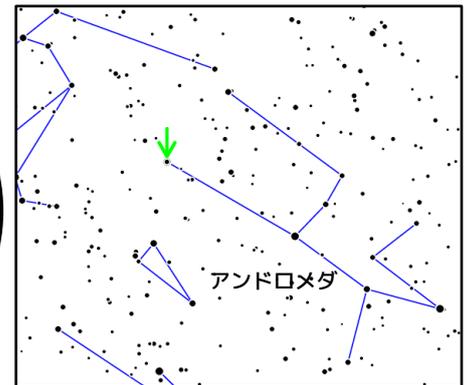


図2: アルマクの星図。

【悪魔の星アルゴル】

ペルセウス座で輝く「悪魔」の異名を持つアルゴルは、明るさが変わる星（変光星）として有名な天体です。普段は2.1等という明るさですが、ときどき3.4等まで暗くなります。この星は二つの星が周りあう連星として知られ（軌道周期約2.87日）、一方の星がもう片方の星を隠す「食（しょく）」という現象で明るさが変化します。ひとたび食が起こると約5時間かけて暗くなり、また5時間くらいかけて元の明るさに戻ります。

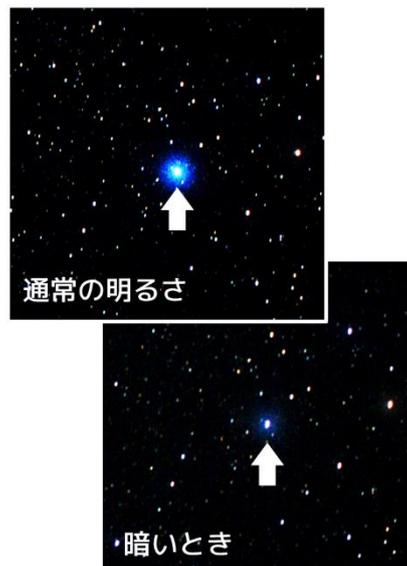


図3: アルゴルの明るさの変化。

表1: 2018年内に観察しやすいアルゴルの食。

日付	極小時刻
11月1日	23:24
11月4日	20:13
11月22日	01:07
11月24日	21:56
11月27日	18:45
12月12日	02:50
12月14日	23:39
12月17日	20:28